

# BSIA

User Initiated Business & IT system Association

2019年度版

## CONTENTS OF ACTIVITIES

[www.bsia.or.jp](http://www.bsia.or.jp)

# ご挨拶

## ● BSIAの成り立ち

2019年の年次会報を発行するにあたり、ご挨拶申し上げます。  
ビジネスシステムイニシアティブ協会 (BSIA) の活動の始まりは2011年2月で、その1ヶ月後に東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所のメルトダウン事故が発生し、世界でも経験のないような災害に襲われました。日本が混乱するなかでのスタートでした。

この活動は日本での情報システム開発の現状に憂いを持っていた発起人の當仲寛哲氏の支援を受けて立ち上げ、同じく発起人の一人である片貝孝夫氏の遺志も受け継いでいます。

任意団体から活動を始め、2013年5月に特定非営利活動法人システムイニシアティブ協会として認定を受け、2015年7月にビジネスの視点から見る本質を見失わないように協会名をビジネスシステムイニシアティブ協会 (BSIA) に改称して現在に至っております。



設立代表者・理事長 木内 里美

## ● BSIAの課題認識と活動

本活動の課題認識は協会名にある「イニシアティブ」にあります。主導権を表す言葉でありリーダーシップの意味もありますが、パイオニアや先手の意味もあります。企業の情報システムを構築する際に、ビジネスを知るシステムの発注側がイニシアティブを取るの当然の姿であり、それを取り戻すことが必要です。

メインフレームが主流であった時代には、コンピュータメーカーに技術依存せざるを得ませんでした。それでも発注側はイニシアティブを失ってはいませんでした。オープン化が進む中でハードウェアもシステムの要求も多様で複雑になり、徐々にベンダー依存が

進んでいき、挙げ句の果てに丸投げと言われる高依存の結果、ビジネスのためのシステムが構築できず動かないコンピュータや係争問題が頻発するようになりました。

この問題はシステムの発注側だけでは留まらず、ビジネスがわからなくても不十分な要件でも受注してしまう受注側にも問題があります。BSIAはこの両者の関係改善も含めて、ビジネス側がイニシアティブを取り戻し、ビジネスを支える情報システムを構築できるように啓発活動を続けます。

## ● 今年の振り返りとこれから

キーワードは引き続きハイモダリティ、デジタル経営、アジャイル、AI、IoTなどになっていますが、さらにデジタルをベースに企業の変革を促すデジタルトランスフォーメーション(DX)の意識が経営層にも高まっています。経済産業省も「2025年の崖」としてレガシーシステムの放置状態に警鐘を鳴らしデジタルトランスフォーメーションを推進するDXレポートを発信しました。

2018年の事例研究会でもレガシーシステムの刷新事例やデジタルトランスフォーメーションの本質について議論を重ね、データやセキュリティビジネスプラットフォームなど個別要素について参加者とディスカッションしました。毎回多くの示唆と知恵が交換され、参加者の数も着実に増えつつあります。

8月には参加者300人規模のシンポジウムを開催し、獺祭の桜井会長やライザップの岡田取締役、武州工業の林社長、十勝バスの野村社長など経営者をお招きし「本質」に関わるご講演を頂きました。交流会にもたくさんの方が参加され盛会のうちに終わることができました。2019年も刺激的なシンポジウムを開催したいと思います。

ビジネスは製造業を含めてサービスに向かう傾向が見られます。サービスを支えるのはデジタルです。そしてスピードも要求されています。企業でシステムに関わる皆さんはリーダーシップを発揮し、現場を観察し、積極的にスピーディに経営に関わるように活動してください。BSIAはコミュニティで経営とシステムに関わるみなさんを支援してまいります。

## BSIAの 活動概要

企業、団体、業種の枠を超え、先進事例の研究、問題解決手法に関する情報交流や相互啓発の支援、主体性を発揮できる情報人材の育成に関する事業を行っています。各活動は運営委員によってレポートが作成され、Webで発信されます。

## ビジネスシステムイニシアティブ実践事例の共有と議論の場

### ● 例会

事例講演とディスカッションを行います。単なる講演会ではなくファシリテータがリードする参加者同士の議論で理解を深めビジネスシステムイニシアティブ実現のポイントを見出していきます。

毎月開催、1回ごとに異なるテーマ  
どの月からでも参加できます。

#### ● 本音の意見交換

ユーザー、ベンダーを問わない議論がおこなわれ、「ここだけ」の話が飛び出します。

#### ● 異業種交流

テーブルディスカッションで異業種交流が促進されます。

BSIA活動の全国展開の一環として、これまで東京でのみ開催していた例会を大阪で実施。

講演者をヤンマー株式会社・矢島孝應氏、ファシリテータを住友ゴム工業株式会社・橘高政秀氏にお願いし、2018年10月24日 大阪市本町で開催した第1回関西例会は50名を超える方々に参加いただきました。



### ● 分科会

ビジネスシステムイニシアティブにまつわる特定のテーマについて少人数のグループで議論、研究を行います。

#### ● 現在活動中

パートナーシップ分科会 → 2014年4月～(東京)

#### ● 過去開催

企業の成長を支えるPMO研究会 …… 2013年10月～2016年9月(東京)  
iUI/iUXデザイン手法の研究部会 …… 2012年 4月～2012年9月(東京)  
IT部門の人材育成検討部会 …… 2011年 9月～2012年6月(大阪)

## パートナーシップ分科会報告

BSIAでは、ユーザ企業とITベンダーとの真のパートナーシップはどうあるべきかということテーマに分科会活動を行っています。過去には、組織や人の育成・鳥の目からみたモデリングの重要性・ベンダーマネージメントのためのコミュニケーション・ユーザ企業に必要なスキル、などをテーマに活動してきました。

2019年は、これまでの検討してきた内容を何らかの形で一般に発信しようと計画しています。発信する媒体は書籍なのか、はたまた漫画なのか。どのような形になるかわかりませんが、広く読者に訴えるものができればと考えています。ご期待ください。





## 例会講演概要 (2018年3月以降の講演)



2018年3月 第78回例会 **成田 敏博 様** 株式会社ディー・エヌ・エー 経営企画本部 IT戦略部 部長

講演タイトル:「ビジネスシステムイニシアティブを手中に ～DeNA IT戦略部の取り組み～」

3年前、DeNAはシステム企画・構築・運用における「ベンダーへの外注」を完全に止めました。以降、情報システム部門にあたる約30名の「IT戦略部」のメンバーのみで100%内製での運用を実現しています。これらを可能にする組織体制やメンバーのスキル、様々なソリューションを組み合わせたエンタープライズITの在り方、DeNAが今まさに進めている具体的な取り組みをご紹介します。



2018年4月 第79回例会 **田中 秀樹 様** セイコーエプソン株式会社 IT推進本部 情報化推進部 部長

講演タイトル:「業務システムのグローバル最適化への取り組みと事業を横断したデータ管理基盤の構築」

セイコーエプソンでは、企画、設計から製造、販売までバリューチェーン全体を最適化する「垂直統合型ビジネスモデル」への変革を推進しています。グローバルIT基盤の全体最適化への取り組みは、業務領域ごとのアプリケーション標準化、データマネジメント強化による情報活用高度化など、多岐にわたります。本講演では、グローバルIT戦略とプロジェクト「Eutopia (ユートピア)」についてご紹介します。



2018年5月 第80回例会 **松田 貴久美 様** オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社 企画開発部 IT企画チーム

講演タイトル:「沖縄流『Ecoまるマネジメント』による業務プロセス改善活動とRPA導入までの歩み」

オリックス・ビジネスセンター沖縄(以下OBCO)では、業務の効率化や生産性向上のため、業務の見直しを進めてきました。日々の業務量と時間の計測から開始し、定量データを元に分析、改善、提案、実行へと繋げてきました。9年間継続しているOBCOのリアルタイムマネジメントの手法とBPM活動、そして新たな働き手(在宅勤務、クラウドワーカーやRPA)の確保に至るまでの取り組みをご紹介します。



2018年6月 第81回例会 **油野 達也 様** 株式会社データビークル 代表取締役CEO

講演タイトル:「データ駆動型経営への招待 ～Data is New Oil～」

昨年、この国では「BIツールでグラフを書くこと」を「データ分析」だと錯覚している企業が多い。他方、面倒くさいことはAIがやってくれるようになると考えている人も多い。真のデータ駆動型経営とはなにか? データをどう使えばいいのか? 多くのユーザーと取り組んできた経験をもとに具体的な成功例、失敗例を交えて「データ駆動型経営」実現のコツをお話します。



2018年7月 第82回例会 **神岡 太郎 様** 一橋大学 商学研究科教授 工学博士

講演タイトル:「デジタル・トランスフォーメーション」

本講演では、デジタル・トランスフォーメーション(DX)と組織の問題についてお話します。DXとは、デジタルを活用して、あるいは活用できるように、ビジネスや組織の活動・内容・仕組み等を、構造的に転換する。アナログをデジタルに変えることが前提ではなく、より価値を生むことに主眼がある。また、DXを専門に担う者としてCDO(Chief Digital Officer)についても言及する。



2018年9月 第83回例会 **金子 昌司 様** みらかホールディングス株式会社 IT本部長

講演タイトル:「日本の臨床検査サービスを下支えしながら、新ステージにビジネスを変革させてゆく為のIT改革」

あまり目立つことのない受託臨床検査業界ではありますが、実は日本の医療を支える非常に重要な役割を担っており、ITがその役割の下支えをしています。業界の概要もお話ししながら、合併を繰り返すことにより複雑化したITの仕組み・組織をどのように改革し、臨床検査ビジネスの今後の変革を推進してゆくかについてお話ししたいと思います。



2018年10月 第1回関西例会 **矢島 孝應 様** ヤンマー株式会社 取締役 ビジネスシステム部長

講演タイトル:「次なる100年を拓く、ヤンマーグローバルIT戦略 A SUSTAINABLE FUTURE ～テクノロジーで、新しい豊かさへ～」

ヤンマーは、創業者・山岡孫吉の想いである「人々の暮らしを豊かにする革新」のため、次の100年に向けて、未来の4つの社会(省エネ、安心な生活、食の供給、暮らしやすい社会)を目指しています。本会では、生涯価値向上に向けたお客様起点のIT戦略をご説明します。それらを支える次世代テクノロジーの活用及び推進に対し、CIOとして果たすべき役割についての考え方を共有いたします。



2018年10月 第84回例会 **近藤 寿和 様** ユニチカ株式会社 情報システム部 部長

講演タイトル:「システムリフォーム(ユニチカモデル)で実現した成長する基幹システム」

ユニチカでは、基幹システムの再構築にあたり「先進性」「保守性」「開発生産性」の実現というコンセプトを打ち立て、今後の主流開発モデルとされる「システムリフォーム」をベースに「ユニチカモデル」を策定し、当モデルでの再構築を無事に完了した。実践で築き上げたノウハウと勘所を詳しく説明する。



2018年11月 第85回例会 **石田 淳一 様** 株式会社アールジェイ 代表取締役

講演タイトル:「あなたの知らない情報セキュリティの世界」

昨今情報セキュリティをめぐる状況は日々新たな脅威が発生し、企業経営に関わる大きなリスクになっています。皆さんが知っているつもりになっている情報セキュリティの世界を、セキュリティ業界に25年以上携わっているセキュリティの専門家が、業界の歴史からサイバーセキュリティを取り巻く最新の脅威をわかりやすくお伝えし、いま私たちが対応すべき情報セキュリティ対策を解説します。



2018年12月 第86回例会 **加藤 由貢 様** トランコム株式会社

講演タイトル:「データで変える物流ビジネス ～見える化で解決する物流の効率化～」

トランコムは、物流ビッグデータを活用して社員の働き方改革にBIツールを導入しました。社員が瞬時に「次のアクション」に繋げるデータの見える化と管理職の運営と営業戦略を多角的に分析するツールとして活用しています。本講演では、開発前に重要視した視点と現場社員が動ける数値をどのように作り出し、浸透させたかのプロセスをお話し、現場目線で実践したビッグデータ活用事例をお伝えします。



2019年1月 第87回例会 **中野 剛志 様** 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長

講演タイトル:「デジタルトランスフォーメーション(DX)について～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～」

真のデジタルトランスフォーメーション(DX)を実現していくためには、最新のデジタル技術の導入だけでなく、経営戦略全体のコミットのもとで既存業務・ITシステムをともに変革させ、経営全体をデジタル化し、あらゆる企業が「デジタル企業」化していくことが求められる。本講演では、経済産業省が「DXレポート」としてまとめた、DXに向けた課題と対策について解説を行う。

## 例会 講演者、参加者からのコメント

### ● 2018年12月講演者 加藤 由貢 氏 (トランコム株式会社 物流サービスグループ 営業本部 ゼネラルマネージャー)



2018年12月に「データで変える物流ビジネス」というタイトルで、弊社が活用している実践的なBIツール導入事例のご紹介をさせて頂きました。その日は木曜日で、平日18時からの講演でしたので、仕事が終わってからでは人が集まりにくいと考えていました。しかし、当日は、かなりの人数の方が参加して頂いてビックリしまし

たが、さらに一番驚いたのは、参加した方全員が真剣に私の話に耳を傾けて頂き、その後のディスカッションでは、熱心に議論をされていたことでした。最初に「かなりの人数の方…」と申しましたが、講演終了後に忘年会があったことで、参加した人数が多かったことを後から気づき、「あっそういうことね」と思いましたが、その忘年会の場でも色々なご質問やご意見をぶつけて頂いたので、私自身も良い勉強をさせて頂ける学びの多い会となりました。私は独学で何事も考え込んでしまう性格ですが、このような学びの場があることに感銘を受けましたので、機会があったら参加者として、皆様と議論を交わしてみたいと考えております。

### ● 例会参加者 吉村 誠 氏 (株式会社日立製作所)

数年前 インプレス田口さんからの誘いで例会に出席するようになりました。

ITベンダーの立場から、価値が「良い・悪い」、「大きい・小さい」の評価はお客様(市場)にあると考えています。

当初はITの役割が業務効率の道具であり、それをどう使い、どうリプレイス、どう変えていくかが大命題。例会には、『特許庁業務・システム最適化計画(第51回例会 中村敬子氏)』や『全部の道はローマに続く(第52回例会 橋高政秀氏)』、『弊社初代CIOの話(第74回例会 上田靖之氏)』など印象的な内容もあり、また失敗事例なども惜しみなく公開するこの会の活動に常に感動です。アーキテクチャ設計、組織づくり、進め方が盛り込まれ実に実用的です。

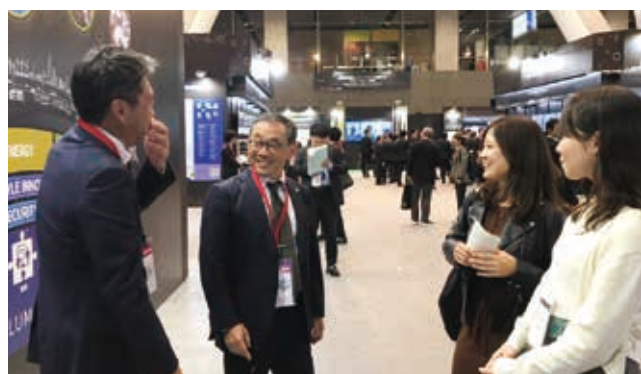
最近ではITがビッグデータ時代からデジタルトランスフォーメーション活用に変わる時代に、データの活用、改革の企画や変革への取組のポイント、などの話がおもしろい。

まさにITが事業変革から社会変革の主役を担っていますね。

毎回、講演を聞いてノート1頁がメモで埋まります。ビジネスの本当

の現場・マネージャの本音が良くわかる。提案でお客様のところに行っても決して手に入れることが出来ない情報。田口さんのファシリテートで議論と質問で内容も深堀され、木内さんの的を射たまとめも素晴らしいです。

常に期待以上の情報と人脈を得られる場所です。



### ● 関西例会ファシリテータ 橋高 政秀 氏 (住友ゴム工業株式会社 主幹)

昨年10月、BSIAの第一回関西例会が大阪のカーニブレイス本町ビルで開催されました。講師には、関西企業であるヤンマー株式会社様から取締役ビジネスシステム部長の矢島孝應氏をお呼びし、「次なる100年を拓くヤンマーグローバルIT戦略」について現場の裏話を含め、貴重なお話をさせていただきました。

ITベンダー等の色がつかないIT関連のイベントは最近増えてきていますが、やはり関東での開催が多く、関西企業にとっては不便を感じていましたのでBSIAの関西進出は大歓迎でした。会場は満席で、関西ならではの突っ込んだ活発な討議・質疑応答がなされました。

最近ではIT技術の変化が速く、その技術を理解することが大事ですが、自社あるいはお客様にどのように活用できるかという視点から、実際の活用事例の情報が重要になってきていると感じていま

す。ただ、活用事例の公表は、企業秘密に触れる部分があり、ある程度表面的になりがちです。BSIAの例会では、講師からの一方的な情報発信だけではなく、参加者同士および講師との質疑応答の中から、企業秘密に匹敵するような情報を得られることができる集まりであると感じました。今後も関西でのBSIA例会が定期的開催され、関西のIT関係者の活発な情報交換の場となることを期待します。





# 破壊的創造(ディスラプティブ)時代を 支えるデジタル戦略

～リーダーは自ら創造的破壊を担え!～

主催:ビジネスシステムイニシアティブ協会

日時:2018年8月29日(水) 場所:秋葉原UDX

## ● コンセプト

ビジネス変革がダイナミックになり、クロスボーダー M&A が重要なビジネス戦略になるなかで、イノベーションやビジネストランスフォーメーションがキーワードになっています。ビジネス構造やプロセスを変質させるほどの変革が求められているのです。

一方では AI (人工知能)、IoT(Internet of Things)、FinTech (Finance X Technology)、API マネージメントなどの先進テクノロジーの支える社会が現実へ向かう姿を見せはじめています。デジタルもダイナミックに動いているのです。これらビジネス環境

変革と先進テクノロジーの融合はまさにビジネスに破壊的創造(ディスラプティブ)を起こしていきます。この荒波にのまれることなく航海するにはビジネス現場主導のシステムイニシアティブ(主体性あるシステム活用)が必須です。

本シンポジウムでは、アグレッシブにビジネス変革に取り組んでいる企業様の事例と、それを支える最新技術の動向を皆さんと共有し、創造的破壊の時代に求められるシステム構築、人材の発掘・育成、組織についても議論したいと考えています。

## ● 講演風景



## セッションスケジュール

「ビジネス創出・経営とIT」 トラック	「ITテクノロジー活用事例」 トラック
<p><b>基調講演</b></p> <p>「ピンチはチャンス! ～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～」 旭酒造株式会社 会長 桜井 博志 様</p> 	
<p>「青果流通の特殊性」 株式会社ファーマインド 代表取締役社長 堀内 達様 (有)ユニバーサル・シェル・ プログラミング研究所 代表取締役所長 當仲 寛哲 様</p>  	<p>「基幹システム再構築における絶対に 外せない3つのポイント」 株式会社豆蔵 牟田 嘉寿 様</p> 
<p>「働き方改革／テレワークを加速する ウェブ会議&amp;セキュリティ」 シスコシステムズ合同会社 大野 元嗣 様 株式会社ディー・ディー・エス 石川 竜雄様</p>  	<p>「エンタープライズアジャイルって なんだろう?」 株式会社ジャスミンソフト 代表取締役 贅 良則 様</p> 
<p><b>特別講演</b></p> <p>「RIZAP デジタル化の全貌」 RIZAPグループ株式会社 取締役 事業基盤本部本部長 岡田 章二 様</p> 	
<p><b>テーブルディスカッション</b></p> <p>シンポジウムのテーマに沿って、参加者全員で情報交換・意見交換を行うテーブル毎ディスカッションを行います。参加者はTwitterで感じたこと・意見を自由にツイート出来ます。</p> 	
<p>「IoT導入による生産性向上への 取り組み」 武州工業株式会社 代表取締役 林 英夫 様</p> 	<p>「DeNAを支える デジタルプラットフォーム」 株式会社ディー・エヌ・エー IT戦略部長 成田 敏博 様</p> 
<p>「創造的変革時代に求められる技術と人材」 ～事例をベースに～ 株式会社データ総研 代表取締役社長 エグゼクティブシニアコンサルタント 堀越 雅朗 様</p> 	<p>「日産自動車のシステムリフォーム活用紹介」 ～IT従事者の地位向上の為に～ 日産自動車株式会社 須田 俊彦 様 株式会社ソフトロード 劉 忱 様</p>  
<p>「お客様密着!で地域に貢献する 十勝バスの取り組み」 十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾 様</p> 	<p>「試行錯誤をし続ける星野リゾートの IT戦略の目指す場所」 株式会社星野リゾート グループ情報システム ユニットディレクター 久本 英司 様</p> 

## 例会講演リスト（初回から第77回まで。78回～はP4参照）

1	2011.4	丸投げ&ロックイン構造からの脱却	熊野 憲辰 氏（ゼリア新薬工業株式会社）
2	2011.5	病院におけるユーザー主導のシステム導入・活性術	杉浦 和史 氏（杉浦技術士事務所）
3	2011.6	情報経費を半分に！～システム開発のパラダイムシフト	内山 東平氏（情報科学研究所）
4	2011.7	目利きになろう！～韓国ソフト事情紹介とディスカッション	木内 里美 氏（大成ロテック株式会社）
5	2011.8	情報システム内部監査から見た「ユーザー主体のシステム開発」	田中 幸一 氏（東京海上日動火災保険株式会社）
6	2011.9	丸投げからの脱却 ～IT部門内教育とベンダーとの関係改善について	鈴木 康宏 氏（株式会社日本公文教育研究会）
7	2011.10	システム開発におけるベンダーマネジメント	油野 達也 氏（インフォテリア株式会社）/ 堀野 史郎 氏（アカマイテクノロジーズ）
8	2011.11	システム開発契約におけるシステムイニシアティブの留意点	野々垣 典男 氏（株式会社JTB情報システム）
9	2011.12	ベテラン編集者が語る!システムイニシアティブこの1年	田口 潤 氏（インプレスビジネスメディア社）/ 谷島 宣之氏（日経BP社）
10	2012.1	変化する時代、問われる企業IT化のあり方	桑原 里恵 氏（札幌スパークル）
11	2012.2	ベンダーからグリップ（責任と執行）をとりもどせ！	長谷川 秀樹 氏（株式会社東急ハンズ CIO）
12	2012.3	偽者は要らない、本物のSEだけが企業を救う	青木 明雄 氏（情報システム基盤コンサルタント）
13	2012.4	この閉塞する日本を改革できるのは、情報システムの力しかない	横塚 裕志 氏（東京海上日動システムズ社長）
14	2012.5	企業内アントレプレナーと業務キュレーションの重要性	田辺 要平氏 / 畑石 千裕氏（大成建設株式会社）
15	2012.6	ジングスハーンにマネジメントを学ぶ	浜本 知一 氏（株式会社富士テクノソリューションズ）
16	2012.7	IT経営によるユーザ主体性の真骨頂	齋藤 正勝 氏（カブドットコム証券株式会社 社長）
17	2012.8	基礎自治体はさながら情報処理工場、そこで働く職員が情報システムの主導権を握らなければ、住民のための仕事ができるはずがない	吉田 稔 氏（西宮市CIO補佐官兼西宮市情報センター長）
18	2012.9	流通小売企業のIT活用におけるイノベーションへの挑戦	西川 晋二 氏（株式会社トライアルカンパニーCIO）
19	2012.10	日本発のE-Commerce企業におけるビッグデータ戦略と未来への課題	森 正弥 氏（楽天技術研究所長）
20	2012.11	グローバル化を勝ち抜く、企業IT力強化の処方箋 ～梃子（IT基盤）づくり、人づくり、仕組みづくり～	矢澤 篤志 氏（カシオ計算機株式会社 執行役員）
21	2012.12	経営とITの融合 ～強い企業を支えるITは自ら考える～	小佐野 豪績 氏（ヤマトホールディングス株式会社執行役員）
22	2013.1	ダイバーシティが日本を元気にする～マイノリティは見た、日本の実態	劉 忱（リュウ シン）氏（株式会社ソフトロード社長）/ Atsushi Taniguchi 氏（SAP）/ 浦田 有佳里 氏（住宅金融系ITベンダー）
23	2013.2	最適なIT投資の実現に向けて	河崎 幸徳 氏（株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部 部長）
24	2013.3	情報システム部門の組織 ユーザー企業の情報子会社のあり方について	小田 滋 氏（DIC株式会社 情報システム本部長）
25	2013.4	農業専門紙の意地として ～「新市況システム2010」開発物語	永井 孝介 氏（株式会社日本農業新聞 編集局長）
26	2013.5	マチのほっとステーションを支える情報システム	佐藤 達 氏（株式会社ローソン 執行役員CIO兼ITステーションディレクター）
27	2013.6	情報システム部門における人材育成の事例紹介	沼 英明 氏（ノバルティス ファーマ株式会社 企画管理本部 執行役員 情報システム事業部長）
28	2013.7	札幌市における利用者主導での基幹系情報システム再構築の取り組み	長沼 秀直 氏（札幌市総務局情報化推進部IT推進課システム開発担当課長） ほか
29	2013.8	自社開発を主体とした積水化学のITの取り組みについて	寺嶋 一郎 氏（積水化学工業株式会社 経営管理部 情報システムグループ長）
30	2013.9	情報システム部門のマネジメントを考える	坪井 祐司 氏（株式会社 LIXIL 上席執行役員プロダクツカンパニーCFO）
31	2013.10	HondaにおけるIT部門の役割と責任	有吉 和幸 氏（本田技研工業株式会社 IT本部長代行 参事）
32	2013.11	共通ポイントカード利用者のデータ分析結果を活用した収益拡大への取り組み事例	宮田 洋 氏（遠州鉄道株式会社グループ経営推進本部経営企画部長）
33	2013.12	アーキテックチャ主導の企業情報システムへ	中山 嘉之 氏（株式会社アイ・ティ・イノベーション シニアコンサルタント）
34	2014.1	2014年のシステムイニシアティブ ～新しいパートナーシップの構築に向けて～	超高速開発コミュニティ / 石毛 信次 氏（ブックオフコーポレーション株式会社 T統括部 運用 グループ マネージャー）/ 今林 豊 氏（株式会社市進ホールディングス 情報管理部 副部長）
35	2014.2	分析力を武器とするIT組織になる～大阪ガスの挑戦～	河本 薫 氏（大阪ガス株式会社情報通信部ビジネスアナリシスセンター所長）
36	2014.3	事例から学ぶ、大手企業の対等合併に伴うIT統合	佐々木 典夫 氏（ITコンサルタント）
37	2014.4	旅館におけるITの活用事例	宮崎 富夫 氏（鶴巻温泉 元湯陣屋 代表取締役社長）
38	2014.5	リコーのグローバルITガバナンスの取り組み	石野 普之 氏（株式会社リコー 理事 経営革新本部副本部長）
39	2014.6	良好な関係に良好なシステムが宿る ～超高速開発手法を利用したユーザ主体の基幹システム開発事例～	今林 豊 氏（株式会社市進ホールディングス 情報管理部 IT戦略推進室 副部長）/ 斉藤 明 氏（株式会社市進ホールディングス 情報管理部 IT戦略推進室 課長補佐）/ 福島 進太郎 氏（株式会社アイ・ティ・フロンティアシステムグループ プラットフォームアセンブリユニット）



40	2014.7	日本型ハイブリッド経営の一例 情報技術と経営の融合	安崎 暁 氏 (株式会社小松製作所 元社長・会長)
41	2014.9	30年振りの業務系基幹システム刷新	石毛 幾雄 氏 (山崎製パン株式会社 計算センター室長)
42	2014.10	23町村中18町村が参加。国内最大規模の自治体基幹系業務システム共同化の経緯	市瀬 英夫 氏 (埼玉県町村会 参事 情報システム共同化推進室長)
43	2014.11	顧客との信頼確立 ～明豊のCMサービスとそれを支える独自のシステムについて～	坂田 明 氏 (明豊ファシリティワークス株式会社 代表取締役社長)
44	2014.12	すしクラウド ～クラウドファーストからクラウドネイティブへ進化～	田中 覚 氏 (株式会社あきんどスシロー 情報システム部長)
45	2015.1	システムイニシアティブの核心に迫る! ～SIA分科会からの報告～	パートナーシップ分科会:佐々木 典夫 氏 (座長・ITコンサルタント) +ユーザー8名 企業の成長を支えるPMO分科会:永谷 裕子 氏 (座長・㈱アスカプランニング) IT部門の人材育成検討分科会:鈴木 康宏 氏 (座長・㈱日本公文教育研究会)
46	2015.2	次世代のCIOに求められるもの	塚本 裕昭 氏 (マイラン製薬株式会社 インフォメーション・テクノロジー部 部長)
47	2015.3	情報システム部の構造改革	加藤 恭滋 氏 (大和ハウス工業株式会社 執行役員・情報システム部長)
48	2015.4	ビジネス拡大の足かせではなく変革の推進力になるための挑戦	久本 英司 氏 (株式会社星野リゾート グループ情報システム ユニットディレクター)
49	2015.5	馬鹿な営業は要らない!	恩田 明 氏 (全日本食品株式会社 上席執行役員 情報システム本部 本部長)
50	2015.6	ITによるビジネス貢献	引地 久之 氏 (日本たばこ産業株式会社 IT部長)
51	2015.7	「特許庁業務・システム最適化計画」への取り組み	中村 敬子 氏 (特許庁 総務部情報技術企画室長)
52	2015.10	ローマ帝国に学ぶITの役割	橘高 政秀 氏 (住友ゴム工業株式会社 IT企画部長)
53	2015.11	IT部門を取り巻く環境変化とその備えー広がる役割、高まる期待への対応とは!ー	金 修 氏 (一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 専務理事)
54	2015.12	「システムイニシアティブを取り戻せ」～システムイニシアティブを失ったIT部門がイニシアティブを取り戻す方法～	立花 秀樹 氏 (リゾートトラスト株式会社 情報システム部 業務改善課長)
55	2016.1	模倣の経営学～偉大なる会社はマネから生まれる～	井上 達彦 氏 (早稲田大学商学学術院教授・インキュベーション推進室長)
56	2016.2	BSIAパートナーシップ分科会からの報告	パートナーシップ分科会:佐々木典夫 (座長・ITコンサルタント) 高橋俊夫氏、宇羅勇治氏、米田正明氏、山本康氏、堀越雅朗氏、安藤和美氏、 富谷喜一氏
57	2016.3	ミサワホームのIT再構築「クラウドファースト」と「パイモダール」へのチャレンジ	宮本 真一氏 (ミサワホーム株式会社 企画管理本部 情報システム部 部長)
58	2016.4	価値創造の仕組み ～人と人との繋がりが新しい価値を創造する～	竹林 一氏 (オムロン株式会社 京阪奈イノベーションセンタ オープンイノベーション担当)
59	2016.5	LIXILのグローバルIT戦略	小和瀬 浩之氏 (株式会社LIXIL 上席執行役員 CIO 兼 情報システム本部 本部長)
60	2016.6	Global One Takedaに向けたビジネスの変革を支えるIS/ITの変革とデジタルへの取り組み	沼田 智氏 (武田薬品工業株式会社 グローバルインフォメーションテクノロジー リレーションCIO 製薬&サプライシステムズヘッド)
61	2016.7	KUMONのグローバルシステム [KiDS] の高速開発と短期導入 ～国内の改革を海外にどう活かしたか～	鈴木 康宏 氏 (株式会社公文教育研究会 グローバルICT戦略室 室長)
62	2016.8	FinTech 銀行が受けるインパクト	佐藤 宏昭 氏 (株式会社八十二銀行 執行役員システム部長)
63	2016.9	札幌市基幹系情報システム再構築の経験から学ぶ「発注者主導の心得」	田中 寛純 氏 (Josys-led 代表)
64	2016.12	東京ガスのITの現状と電力・ガス自由化に向けて	沢田 和昌 氏 (東京ガス株式会社 IT 活用推進部長)
65	2017.1	迫り来るシンギュラリティと人類の未来	松田 卓也 氏 (神戸大学 名誉教授)
66	2017.2	こうすれば良好なパートナーシップを構築できる!	BSIA パートナーシップ分科会
67	2017.3	データ経営によるビジネス変革への挑戦	土屋 哲雄 氏 (株式会社ワークマン 常務取締役情報システム/ロジスティックス担当)
68	2017.4	ベンチャー企業と大企業の文化の間で揺れる私が行き着いた「パイモダール戦」	小野 和俊 氏 (セゾン情報システムズ常務取締役CTO/アプレッソ代表取締役社長)
69	2017.6	デジタルトランスフォーメーション時代のデータ活用の在り方について考える	高橋 範光 氏 (株式会社チェンジ執行役員 Analytics & IoT担当)
70	2017.7	IoTビジネス時代におけるIT部門の役割	田井 昭 氏 (コニカミノルタ株式会社 執行役 IT企画部長)
71	2017.8	次なる100年を拓く、ヤンマーグローバルIT戦略 A SUSTAINABLE FUTURE ～テクノロジーで、新しい豊かさへ～	矢島 孝應 氏 (ヤンマー株式会社 ビジネスシステム部 執行役員 部長)
72	2017.9	日産自動車におけるIS/IT中期戦略の歩みとIS/ITトランスフォーメーションの取り組み	木附 敏 氏 (日産自動車株式会社 グローバルIT本部 本部長)
73	2017.10	戦略策定と戦略実現の手ほどき	中田 康雄 氏 (株式会社中田康雄事務所 代表取締役 元カルビー株式会社 代表取締役社長兼CEO、CIO)
74	2017.11	経営におけるCIOの責務とビジネスアナリシスー 日立の初代CIOが語る経営とビジネスアナリシス	上田 靖之 氏 (株式会社日立製作所 初代 情報システム管理本部長)
75	2017.12	デジタルトランスフォーメーションに求められるシステム開発手法アジャイルとスクラムとは～価値、原則、プラクティス～	安井 力 氏 (アジャイルコーチ、コンサルタント)
76	2018.1	サッポログループにおけるITインフラ統合	駒澤 正樹氏 (サッポログループマネジメント株式会社 グループIT統括部 シニア イノベーション エキスパート)
77	2018.2	なぜベンダーマネジメントは上手くないのか? ～プロジェクト成功への処方箋～	BSIAパートナーシップ分科会

## BSIA例会参加企業 (抜粋:1027法人中93社を表示)

AGS株式会社	ガリバー・インターナショナル	ミツイワ株式会社
ANAシステムズ株式会社	キヤノンマーケティングジャパン	ヤンマー株式会社
YKK株式会社	キヤノン株式会社	ライオン株式会社
アース製薬株式会社	キャピタランド・リテール・マネージメント株式会社	住友ゴム株式会社
アイ・エス・ガステム株式会社	キリンビジネスシステム株式会社	リゾートトラスト株式会社
アクサダイレクト生命保険株式会社	クノール食品株式会社	伊藤忠テクノソリューションズ
アクサ損害保険株式会社	グローウェルホールディングス	伊藤忠商事株式会社
アコム株式会社	コニカミノルタ株式会社	井関農機株式会社
アスクル株式会社	日産自動車株式会社	一般財団法人日本気象協会
アステラス製薬株式会社	東京ガス株式会社	横浜ゴム株式会社
アメリカンホーム医療・損害保険	シヤチハタ株式会社	王子物流株式会社
イオンアイビス株式会社	株式会社ディー・エヌ・エー	花王ビジネスアソシエ株式会社
ウォルト・ディズニー・ジャパン	セイコーエプソン株式会社	花王株式会社
エン・ジャパン株式会社	セコム株式会社	楽天株式会社
オムロンネットワークアプリケーションズ株式会社	サッポログループマネジメント株式会社	株式会社アサツーディ・ケイ
オリックス・レンテック株式会社	ソフトバンクBB株式会社	株式会社イトーキ
オリックス株式会社	ソフトバンク株式会社	株式会社インテリジェンス
オリックス生命保険株式会社	トーソー株式会社	株式会社インプレス
オリンパスソフトウェアテクノロジー	トヨタ自動車株式会社	株式会社エイチ・アイ・エス
カシオ計算機株式会社	ナカシマプロペラ株式会社	株式会社キングジム
株式会社JTB情報システム	ノバルティスファーマ株式会社	株式会社クボタ
株式会社テプコシステムズ	パーク24株式会社	ゴルフダイジェスト・オンライン
株式会社ミスミグループ本社	パナソニック株式会社	株式会社ジェイティービー
株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	ヒロセ電機株式会社	株式会社ジャックス
株式会社リコー	ファイザー株式会社	株式会社セブン銀行
株式会社レオパレス21	フジモトHD株式会社	株式会社テラオカ
株式会社花王ビジネスアソシエ	マイラン製薬株式会社	株式会社トクホン
株式会社市進ホールディングス	マネックス証券株式会社	株式会社ドン・キホーテ
株式会社寺岡精工	ミサワホーム株式会社	株式会社ブリヂストン
株式会社東輝	みずほコーポレート銀行	株式会社リクルート
株式会社日立製作所	みずほ情報総研株式会社	ユニチカ株式会社

## 法人正会員

IIMヒューマン・ソリューション株式会社  
株式会社アイ・アイ・エム  
株式会社ウイング  
株式会社オラン  
株式会社オープンストリーム  
クオリティソフト株式会社  
サイボウズ株式会社  
株式会社ジャスミンソフト

情報技術開発株式会社  
ジェネクス・ジャパン株式会社  
株式会社システム科学  
株式会社ソフトロード  
超高速開発コミュニティ  
株式会社ディー・ディー・エス  
株式会社データ総研  
株式会社東條経営科学研究所

株式会社ドリーム・アーツ  
日本インサイトテクノロジー株式会社  
ピースミール・テクノロジー株式会社  
ブレインズコンサルティング株式会社  
株式会社日立製作所  
ヒロ・ビジネス株式会社  
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社  
医療法人明和会宮田眼科病院  
有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所  
(50音順・25社)

## 個人正会員

安部 真行  
内山 東平  
岸川 剛  
坂本 克也  
庄司 敏浩  
新家 敦  
前川 徹  
(50音順・7名)

## 理事

理事長	木内 里美 (株式会社オラン)
副理事長	寺嶋 一郎 (TERRANET)
	當仲 寛哲 (有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所)
理事	有吉 和幸 (オフィス有吉)
	内山 東平 (情報科学研究所)
	小河原 茂 (鴻池運輸株式会社)
	河崎 幸徳 (株式会社ふくおかフィナンシャルグループ)
	鈴木 康宏 (株式会社公文教育研究会)
	田口 潤 (株式会社インプレス)
	西川 晋二 (株式会社トライアルホーディングス)
	沼 英明 (F&Pコンサルティング)
	林 浩一 (ピースミール・テクノロジー株式会社)
堀越 雅朗 (株式会社データ総研)	
	前川 徹 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター)
監事	広川 敬祐 (HBSHiroBusinessSolutions広川公認会計士事務所)

## 準会員

1,027社 1,655名  
(2019年2月末現在)

## 入会ご案内

会員種別		年会費
個人正会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この法人の目的に賛同する個人。</li> <li>総会での議決権を持ちます。</li> <li>例会の参加が無料です。</li> <li>例会ビデオを無料でご提供します。</li> <li>その他、正会員向けの特別割引やサービスを受けることができます。</li> </ul>	2万5千円
法人正会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この法人の目的に賛同し賛助する団体。</li> <li>総会での議決権を持ちます。ただし、議決権は法人単位とするため、複数の部門が入会している法人の場合の議決権は1個です。</li> <li>1回の例会に1法人・1口あたり2名が無料で参加できます。</li> <li>当協会のホームページに企業ロゴを掲載します。</li> <li>メルマガでの自社イベント紹介等、法人正会員向けサービスを受けることができます。</li> <li>例会ビデオを無料でご提供します。</li> <li>その他、正会員向けの特別割引やサービスを受けることができます。</li> </ul>	10万円/1口*1
準会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この法人の目的に賛同し、セミナーなどの事業に参加する個人。</li> <li>総会での議決権はありません。</li> <li>当協会からのご連絡などのために、会員登録(メルマガ登録)をしていただきます。</li> <li>例会にご参加された方は準会員として会員登録をします。</li> </ul>	無料*2

\*1 1口から何口でもお申込可能です

\*2 準会員は年会費は無料ですが、有料の事業に参加される場合は、参加の都度料金をお支払いいただきます。





お申込み・お問い合わせ

**ビジネスシステムイニシアティブ協会事務局**

〒105-0003 東京都港区西新橋2-18-2 NKKビル6F (有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所内)

TEL : 03-3432-1174 Eメール : info@bsia.or.jp

---

[www.bsia.or.jp](http://www.bsia.or.jp)